



キンメダイ

太平洋系群

主な漁業と漁期

底立てはえ縄: 周年

立縄: 周年

生態

キンメダイは世界中の熱帯から温帯域の水深200～800m前後の海山や陸棚縁部に分布しています。我が国の太平洋沿岸では重要な漁獲対象資源として利用されており、関東沿岸から伊豆諸島周辺の海域は最大のキンメダイ漁場となっています。

●回遊

標識放流の結果から、伊豆東岸沖のキンメダイの多くはこの海域に滞留していますが、一部のキンメダイは、伊豆諸島南部海域、高知県沖、南西諸島沖まで大きく移動することがわかっています。

●産卵期・産卵場

産卵期: 相模湾から伊豆諸島周辺海域では6～10月で、最盛期は7～8月とされています。

産卵場: 関東沿岸、伊豆諸島周辺海域、小笠原沖などの成魚が生息する海域で広範囲に産卵が行われています。



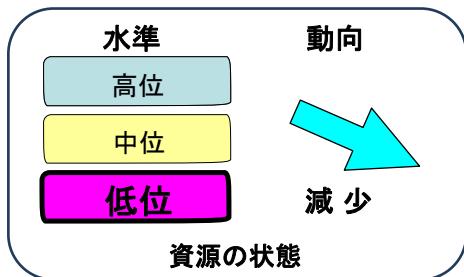
図 主なキンメダイの漁場

●成長

1才で19cm、2才で22cm、3才で25cm、4才で28cm、5才で30cm、10才で39cm前後に成長します。4～5歳で産卵を開始します。20年以上経過して標識魚が再捕されたことがあるため、寿命は20年以上です。

漁業・資源動向

【資源】



- 1 関東沿岸から伊豆諸島周辺海域における2018年の資源量は26.1千トンと推定され、近年は卓越年級の発生は見られず親魚量も減少傾向です。そのため、資源水準は低位、動向は減少と判断されています。
- 2 漁獲の対象は、若齢(1～3歳)は少なく4～10歳が漁獲の中心でした。漁獲物の年齢組成には、年による大きな変化は見られません。
- 4 2014年前後の年級群は比較的高い加入群であるため、漁獲圧を低く維持するこが親魚量の増大に有効と考えられます。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

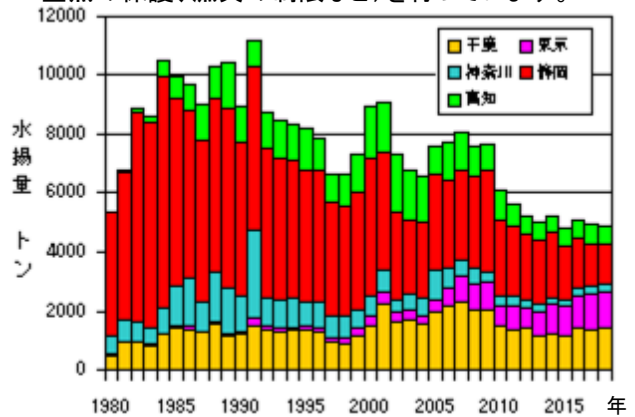
http://abchan.fra.go.jp/digests2019/html/2019_37.html

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests2019/details/201937.pdf>

【漁業】

- 1 キンメダイの主な水揚港を有する千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県の漁獲動向は2005年から2009年まで7千トン台で安定していましたが、その後減少傾向で2018年は4,892トンでした。
- 2 県内の水揚量は1984年にピークを示した後、漸減傾向にあります。2005年からは3,000トン程度で比較的安定していましたが、2010年には2,500トンとなり、減少傾向を示し2018年は1,375トンとなりました。
- 3 静岡県では、漁業者による自主的な資源管理(小型魚の保護、漁具の制限など)を行っています。



千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県のキンメダイ水揚量の推移

担当者の一言: 寿命の長い魚であり資源の回復に時間がかかるため、資源管理が重要です。

問合先

静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 0558-22-0835